

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 143	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題 蓄養型定置網開発研究について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模 (面積、数量等) 】 ○ 相模湾の漁獲物の約7割を占め、相模湾漁業の基幹漁業となっている定置網漁業は、近年、魚価の下落により、経営が圧迫されている。 ○ そのため、魚価安定対策として、漁獲物を市場へ安定的に供給したり、市場の価格動向を見て出荷調整したり、また、魚の品質を管理する等の目的から蓄養出荷が求められている。 ○ このようなことから、地域の漁業拠点となっている「小田原漁港」では、本格的な蓄養水面の建設が進んでおり、平成24年度からは、蓄養試験の実施されている。 ○ そこで、この蓄養水面を活用した、「漁獲物の安定出荷」をより円滑に実施するため、魚の供給元である各地先の定置網に生簀網等を備え、一時的に魚をストックし、これを計画的に蓄養生簀に供給する「安定出荷型定置網」の開発研究を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 定置網漁業活性化支援研究			
対応の内容等 現在、沿岸漁業開発試験において蓄養水面で計画されている蓄養・出荷事業を技術面で支援することを目的に蓄養水面での使用に適した蓄養生簀の開発に取り組むとともに、小田原市漁協が行なう漁獲物の蓄養、出荷等の試験の実施を支援しています。 また、定置漁業活性化支援事業では、生簀網を活用した安定出荷型定置網の研究を行っており、今年2月に小田原市石橋地先の定置網が全面更新され、当該研究の成果を反映した安定出荷型定置網となっています。今後、この成果を他の定置網漁場へ反映させてまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			